

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

社是

海上安全のサポート。海事関係者、洋上風力発電関係者、一般顧客及び社会に貢献する企業グループを目指す。

② 中長期の経営戦略

1. 曳船事業の収益性向上

2025年5月から料率値上げ実施。全日本海員組合との定員削減交渉を進め、隻数増加で低コスト化。船隊規模を需要に応じ最適化。

3. 洋上風力発電事業の成長

CTV等の案件獲得推進。SOV事業開発進展。船員教育訓練強化で船舶管理能力向上。グループ全体で洋上風力発電分野に関与。

2. デジタル化と効率化

IT高度化推進。AIによる配船支援システムで横須賀地区タグボート船隊の配船最適化を実行。陸上・海上業務プロセスの効率化・迅速化。

4. 環境対応と脱炭素化

電気推進曳船「大河」運航で得た知見を活用。環境負荷低減・高安全性の最新鋭曳船投入。グループ船舶も脱炭素化推進。

③ 対処すべき課題

① 曳船事業の需要低迷対応

- ・東京湾入出港船舶数が大きく増加する要因なく、コストインフレ・円安による燃料費増加が収益性低迷
- ・インフレコスト増加に見合う料率改定と定員削減船隻数増加による低コスト化実現
- ・全日本海員組合との交渉進展で船隊規模柔軟最適化

② 旅客船事業の経営改善

- ・横浜港観光船事業をYCruise(株)へ2025年5月移管。人手不足解消と収益性向上
- ・東京湾フェリーは船舶代替も視野に事業再構築を推進
- ・観光客需要の短期変動に対応。インナーハーバー再開発が中期的機会

③ 既存事業と成長分野の両立

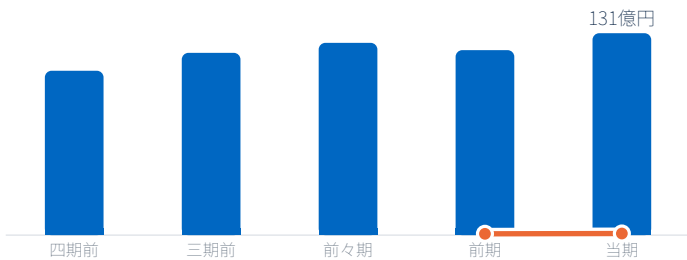
- ・曳船事業の収益性回復と現金流改善で、新分野投資資金確保
- ・洋上風力発電分野での競争激しい中での案件獲得、案件による投資効果検証
- ・設備稼働率向上と適正船隊規模確保で固定費割合が高い構造改善

面接で使えるポイント

- ・社是『海上安全のサポート』に沿い、曳船事業で東京湾全域の安全航行をサポートしつつ…
- ・2023年1月就航の電気推進曳船『大河』の知見を活かし、脱炭素化と環境負荷低減を両立させた次世代曳船開発を推進中。
- ・2025年5月曳船料率値上げと全日本海員組合との定員削減交渉で収益性向上を進め…

証券コード 9193

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
131億円営業利益率
0.8%財務健康度
56点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 58.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,066万円

倉庫・運輸関連業内 1位/31社

平均年齢
41.4歳

倉庫・運輸関連業内 17位/31社

平均勤続
17.5年

倉庫・運輸関連業内 9位/31社

女性管理職
6.7%

倉庫・運輸関連業内 17位/26社

男性育休
-（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

